

活動報告書

報告者氏名：小岩井由紀子 所属：稲荷山養護学校 記録日：25年2月14日

【対象児の情報】

- ・学年 小学5年生の女子
- ・障害名 脳性まひによる 上肢の運動機能障害
- ・障害と困難の内容

上肢にまひがあるため筆記用具をうまく持つことができず、上肢の動きに制限もあるため、文字を書くときに自分が思うような線を書くことができず、文字が曲がったり、ゆがんだりしてしまう。また、細かい動きも難しいため、小さい文字を書くことができない。

筆記用具を持っても、落としてしまったり、すぐ疲れてしまったりして、漢字練習をたくさんしたい気持ちがあるのに、うまくできず、満足できない状態であった。

また、発語がないため、自分の音声でコミュニケーションをとることができないが、普段は文字ボードを使用して、自分の思いを他者につたえている。しかし、伝えるのに時間がかかるので、本当に伝えたいことを、自分の願い通り伝えることは難しい。友だちとコミュニケーションをとるときは、担任が間に入るなどして、気持ちを伝えていたので、友だちに自分の気持ちをストレートに伝えることは難しい状態であった。

【活動目的】

・当初のねらい

筆記用具による漢字練習が難しかったため、iPad を使用し、漢字練習のアプリを使って学習できればよいと考えた。本人は漢字の練習に意欲的だったので、少しでもたくさん練習できることを目的とした。

また、入力した文字を音声で読み上げるアプリを使用し、意見や自分の考えを発表する場で、利用しようと考えた。

・実施期間

H 2 4 年 6 月～継続利用中

・実施者

小岩井由紀子（稲荷山養護学校 職員）

・実施者と対象児の関係

学級担任

【活動内容と対象児の変化】

・対象児の事前の状況

H23年度末に一度 iPad を使ってみたことがあったが、自分の指で思うように操作することができず、そのときは、あまりやりたい気持ちが出てこなかったようである。

しかし、今年度、iPad を使って学習を始めたときにタッチペンを使用したところ、入力がとてもスムーズにでき、タッチペンを使用することで iPad を活用した学習に俄然意欲的になった。

・活動の具体的内容

まず、「ゆびどりるかんじ1年」を利用して漢字練習を始めた。文字を書く欄は10cm四方程度の大きなマスなので、多少線がゆがんだり、うまく書けなかつたりしても、何という文字を練習したのか、担任も本人も認識できた。自分で書いた文字が記録され、ノートに漢字練習をしたように、書いた文字が蓄積されていき、書いた文字を見返してこれだけがんばったんだ、と実感することができた。家庭学習にも利用し、大変意欲的に取り組んだ。

その後、「小学かん字 1年」のアプリに移行し、漢字学習に加え、書き、読みの確かめテストなども行うようになった。

また、夏休み前から「瞬間日記」を利用して、短い日記をつけ始めた。このアプリでは、キーボードが五十音の配列になっているので入力がスムーズにでき、同じクラスの友だちや担任と、交換日記の形式で、書いたり読んだりを楽しみながら練習することができた。

・対象児の事後の変化

iPad を利用し始めてから、国語以外でも様々なアプリを使用するようになり、算数の計算問題、意志を伝えるための「ホワイトボード」、自分の考えを音声で伝える「トーキングエイド」、文化祭の店番で「DropTalk」、週末の日記や、作文などを書くときの「瞬間日記」など、一日の中でも、iPad を活用した学習や活動が非常に多くなり、今や、学習場面には欠かせないものになっている。

また、タッチペンによる書字やキーボード入力の手が速くなり、自分一人での操作もとてもスムーズになった。

【報告者の気づきとエビデンス】

・主観的気づき

トーキングエイドの使用により、自分の思いを他者を介さずに伝えることができるようになったので、とてもうれしそうな表情で、自信を持って意見や考えを發表している場面が多く見られるようになった。

自分から iPad を使いたいという場面が増え、朝の会の健康観察や、帰りの会の感想發表などで使うため、担任に「iPad を机の上に置いて、ペンを持ってきてください」という依頼のしぐさをすることが増えた。

漢字練習などで、やったことが○印で評価されたり、書いたものが蓄積されて記録となっていくので、それを見ることにより、達成感や充実感が得られているようである。また、達成感や充実感を得ることで、課題に取り組む集中力も長く続くようになっており、さらに頑張ろうという気持ちもでてくるなど、プラス面での効果が多く見られる。

・エビデンス（具体的数値など）

家庭学習の漢字練習は、iPad を利用することにより、効率的になり、今まで主に1年生の漢字を繰り返し練習していたのが、今年は2年生の漢字練習にも挑戦し、11月から2月までに68文字を練習することができた。

瞬間日記やトーキングエイドでの文字入力スピードは、当初20分で20文字（一行文：今日、お昼休みにアイスとピザを食べました。）程度だったが、2月では、20分で100文字程度（四行文程度）入力できるようになり、絵文字なども使って個性的に表現できるようになった。

・その他エピソード（画像などを含めて）

瞬間日記を使うことで、作文の力もついてきたように思う。○○をしました、という文章から、「うれしかったよ」「さみしいね」など気持ちを表す言葉が増えている。本人も表現することの楽しさを感じられるようになってきている。

